

外国語科学習指導案

令和4年11月18日(金)第5校時(13:55~14:40)
玉村町立玉村小学校 6年2組 指導者 日野 有子
ALT Dustin Coulter

ゲストティーチャー

群馬県立女子大学 外国語教育研究所
研究員 David Sakai
Timothy Witherow
Dermot McSweeney
Milena Kanna

副所長 町田 邦江

主幹 江原 悠一

英米文学科4年 学生1名

1 単元 Unit 5 We all live on the Earth.

(東京書籍 NEW HORIZON Elementary English Course 6)

2 単元の考察

(1) 教材観

本単元は、地球に暮らす生き物について考え、食物連鎖や生き物に対する自分の考えや気持ちなどを伝え合うことねらいとしている。児童にとって生き物は身近な存在であり、食物連鎖について理科でも学習していることから、興味を引かれる題材であると考え。そこで本単元では、生き物の住んでいる場所や食べるものについて聞いたり話したりした後、食物連鎖についてのスライドを作成して伝え合う。自然の素晴らしさを知り、自然の営みを理解するとともに、私たちが抱える問題に気づき、「共生」の在り方について考えられるように指導していきたい。

「はばたく群馬の指導プランII」の「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のポイント」から、「児童が「目的・場面・状況」を把握し、「やってみよう」といった意欲をもたせられるよう単元の課題を解決するための姿(発話例)を教師の実演で示す」とこと、「児童の思いや考えを大切にしたい言語活動の設定」を行っていく。

以下に3つの観点からの価値を考察する。

[知識・技能]

知識

Where do ~ live? ~live in... What do ~ eat? ~eat... およびその関連語句などについて理解できるようにしたい。聞く活動と話す活動を繰り返し行うことで、実際の会話の場面で使える語彙を増やし、発話の自信をつけたい。

技能

Where do ~ live? ~live in... What do ~ eat? ~eat... およびその関連語句など聞いたり、伝え合ったりする技能を身に付けることができる。

[思考・判断・表現]

地球に暮らす生き物について考えるために、それらの生き物同士のつながりについて書かれたものを読んだり、伝え合ったりしている。

[主体的に学習に取り組む態度]

地球に暮らす生き物について考えるために、それらの生き物同士のつながりについて書かれたものを読んだり、伝え合ったりしようとしている。

3 目標

地球に暮らす生き物について考えるために、それらの生き物同士のつながりなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、話したりして伝え合うことができる。

4 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やり取り／発表)	<p>〈知識〉 Where do ~ live? ~ live in... What do ~ eat? ~ eat... およびその関連語句などについて、理解している。</p> <p>〈技能〉 地球に暮らす生き物どうしのつながりなどについて、Where do ~ live? ~ live in... What do ~ eat? ~ eat... およびその関連語句などを用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合う(話す) 技能を身に付けている。</p>	<p>・地球に暮らす生き物について考えるために、それらの生き物どうしのつながりなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている(話している)。</p>	<p>・地球に暮らす生き物について考えるために、それらの生き物どうしのつながりなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合おう(話そう) としている。</p> <p>・外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、わたしたちにできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合おうとしている。</p>

5 指導方針

「題材全体を通して」

- ・めあて一まとめ一振り返りの流れを通し、見通しをもって授業に取り組むことができるようにする。
- ・よりよい発表をするために、スモールステップ(個人練習→ペアでの練習・発表→グループでの発表→クラスの前での発表・他校との交流→ゲストティーチャーの前での発表)で発表の精度を高め、自信につなげたい。

「つかむ段階では」

- ・チャンツとソングで基本文の復習をする。
- ・自分の調べたことを伝えたいという思いを大事にし、必要感のある場面設定(はばたく群馬の指導プランⅡ p133, p136)をし、本単元の見通しを持たせる。

「追究する段階では」

- ・リアクションやアイコンタクトなども意欲的に取り入れるよう促す。
- ・友達の発表から、どんな動物の食物連鎖を話しているのか聞き取りをする。質問文の後の文をより集中して聞くことが大事であることに気づかせる。
- ・中間評価を行い他の児童のよい例を示し、よかった点を児童に問いかけ、全体で共有する。(はばたく群馬の指導プランⅡ p140)

「まとめる段階では」

- ・実際にスライドを用いて発表しあうことにより、自分の伝えたいことを相手(他校の友だちやゲストティーチャー)にわかってもらえるように伝えるという必要感のある場面設定(はばたく群馬の指導プランⅡ p133, p136)をする。

6 指導と評価の計画

過程	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点や支援	評価の観点			評価方法
					知	思	主	

つかむ	1	生き物の言い方を知り、それらの生き物同士のつながりや暮らしなどについて、短い話の概要を捉えることができる。	Starting Out の音声を聞いて、分かったこと、気づいたことを発表する	・1回目は全文を聞く。2回目は区切りながら聞く。3回目は全文を聞く。 上記の流れで聞き慣らしをする。				
	2	生き物の言い方を知り、それらの生き物同士のつながりや暮らしなどについて聞き、おおよその内容を理解することができる。海の生き物の言い方を知り、日本語と外国語の音の違いに気付くことができる。	Starting Out の音声 No.3 に絞る。ワークシートにメモを取る。	・1回目は聞かせる。2回目は言えそうな英語を言ってみる。 ・音声を聞かせる前に予想させる。				
追究する	3	生き物の暮らしや食べ物についてやり取りする短い話を聞いて、その概要を捉えたり、その情報を伝え合ったりすることができる。	音声を聞きながら、提示された場所にどんな生き物が住んでいるか考え、聞き取る。 ペアになって質問したり、答えたりする	・Where do～live? ～live in …の表現は言い慣らしを十分にさせる。				
	4	生き物同士の食物連鎖について考え、何が何を食べるのかを表す際にどんな語順になるのかを理解して尋ね合うことができる。	ウミガメの話聞いて、環境問題を考える。イラストで、何が何を食べるのかを伝え合う。	・～eat…の表現を十分に言い慣らす。その上で、その表現を用い、情報を伝えたり、尋ねたり答えたりする。				
	5	伝えたい生き物の食べる、食べられるというつながりについて考え、表現に必要なカードを作って説明することができる。	自分で作成した、フードチェーンカードを使って食物連鎖について伝え合う活動をする。	・付け加えたい表現をクラスで共有する。	○			観察 ワークシート・
	6	食物連鎖のスライドを作り、人間と自然のつながりについて考えながら、伝え方を工夫することができる。(ペア、グループ)	スライドを完成させ、発表練習をする。	・「話すときに工夫すること」の視点を確認してから行う		○		観察 ワークシート・
まとめ	7	食物連鎖について自分の考えや気持ちを交えながら伝えたり、それを聞いて反応を返したりすることができる。(代表の3グループ)	スライドを使って他校の児童と Meet で発表する。聞くグループについても、聞く態度を確認する。	・互いの良さを見つけ合い、発表の精度を高めることを意識できるようにする。		○	○	観察 ワークシート・
	8 本時	食物連鎖について自分の考えや気持ちを交えながらゲストティーチャーに伝えたり、ゲストティーチャーの質問に答えたりすることができる。	スライドを使ってゲストティーチャーに発表する。前時の振り返りを生かす。	・前時の振り返りを生かす。 ・中間指導を生かして、発表する。		○	○	観察 ワークシート・

※評価において、○印がない箇所は、各単位時間において、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

7 本時の学習指導

(1) 本時のねらい

食物連鎖について自分の考えや気持ちを交えながらゲストティーチャーに伝えたり、ゲストティーチャーの質問に答えたりする。

(2) 展開

過程	主な学習活動	時間	JTE の役割と支援 評価規準● 評価方法■	ALT の役割と支援	ゲストティーチャー (GT) の 役割と支援
つかむ	① あいさつをする。	6	・日にち、天気を板書する。	・元気よく、明るい雰囲気であいさつする。	・一人ずつ名前を言う。
	② ゲストティーチャーの紹介を聞く。				
	③ 本時のめあてを知る。				
食物連鎖のスライドを使って、自分たちの考えや気持ちをゲストティーチャーや友だちに伝え合おう。					

<p>追究する</p>	<p>④ ALT のあとについて、発表の中心となる英文をリポートする。</p>	<p>32</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>Where do sea turtles live ? Sea turtles live in the sea. What do sea turtles eat ? Sea turtles eat jellyfish.</p> </div>	<p>・児童が言いづらい様子が見られたら、ていねいにゆっくり発音し、再度リポートさせる。</p>	
	<p>⑤ 発表のときにどんな工夫をするか確認する。</p> <p>⑥ 「食物連鎖について発表しよう」に取り組む。各班に GT が回ってきたら、発表する。</p> <p>⑦ 1～2グループが全体の前で発表する。よかった点を全体で共有する。(中間評価)GS のアドバイスを確認する。</p> <p>⑧ グループでの発表活動を再開する。</p> <p>⑨ 代表の班が発表する。(最終評価の共有)</p> <p>〈発表例〉 S: Hello, my name is Yuko. Where do sea turtles live? GS: Sea turtles live in the sea. S: That's right. Sea turtles live in the sea. What do sea turtles eat? GS: Jellyfish? S: That's right. Sea turtles eat jellyfish. Sea turtles are cute. (個々の発表が終わったら) All: We all live on the earth. Thank you for listening.</p>		<p>・発表の際の工夫点を確認し、相手意識を持たせるよう促す。(カード掲示)</p> <p>・児童のサポートをする。 ・各グループの発表の進度を見る。</p> <p>・よかった点を全体で共有する。さらによい発表にするにはどうすればよいかを考える。</p> <p>・中間評価の後、グループでの発表活動を再開する。 ・児童のサポートをする。</p> <p>・最終評価を確認する。</p>	<p>・発表ポイントを一緒に確認する。</p> <p>・GS にグループに移動するよう伝える。 ・児童のサポートをする。 ・各グループの発表の進度を見て、GT に移動の指示を出す。</p> <p>・GS に児童の発表がさらによくなるためのアドバイスを求める。</p> <p>・児童のサポートをする。 ・各グループの発表の進度を見て、GT に移動の指示を出す。</p>	<p>・各グループに入る。 ・児童の発表を見たり、質問に答えたりする。児童の発表が終わったら、内容についての質問をしたり、賞賛したりする。</p> <p>・児童からのよかった点と合わせて、さらによくなるポイントをアドバイスする。</p> <p>・児童の発表を見たり、質問に答えたりする。児童の発表が終わったら、内容についての質問をしたり、賞賛したりする。 ・最終評価を確認する。</p>
<p>まとめ</p>	<p>⑩ まとめをする。今日のめあてをもう一度確認する。「食物連鎖のスライドを使って、自分たちの考えや気持ちを伝え合おう。」</p>	<p>7</p>	<p>「食物連鎖のスライドを使って、自分たちの考えや気持ちを伝え合うためにどんな表現を使いましたか。また工夫したことは何ですか。」</p> <p>「今日の学習を通して気づいたことは何ですか。」</p>		

●思考・判断・表現 ■観察・ワークシート

自分たちの考えや気持ちを伝え合えたか。

⑪ 終わりのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーと協力する楽しさを味わいながら、英語でのやり取りができたという達成感を全体で共有させたい。 ・本時の学びを全体で深める。 ・GS にコメントを求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業全体を通して、これからの積極的な学びに繋がるよう、アドバイスしたり賞賛したりする。
------------	--	--

(3) 板書

黒板

U5 Our Goal

地球に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表しよう。

Friday, November 18th sunny

Today's Goal

食物連鎖のスライドを使って、自分たちの考えや気持ちを伝え合おう。

Where do **sea turtles** live?

Sea turtles live in the **sea**.

What do **sea turtles** eat?

Sea turtles eat **jellyfish**.

発表するのに大事なポイントは…
(絵カード掲示)

中間評価

- ・ゲストティーチャーを見て発表したい。
- ・ゲストティーチャーの質問に答えたい。

Conclusion

「食物連鎖のスライドを使って、自分たちの考えや気持ちを伝え合うためにどんな表現を使いましたか。また工夫したことは何ですか。」

Reflection

「今日の学習を通して気づいたことは何ですか。」
(気づいたこと、できたこと、友達との交流で学んだこと)
食物連鎖を通して、地球環境について考えられました。
クリアボイス、アイコンタクト、スマイルを実行できた。

電子黒板

中間評価の際の児童のスライド
最終評価の際の児童のスライド